

3年5組 担任 森 誠一郎

ご卒業おめでとうございます。高校3年生という大切な一年間、機械科担任として皆さんと過ごせたことを本当に嬉しく思います。機械科においては生徒や保護者の思いを十分に学校生活に反映できず、ご期待に沿えなかった面が多かったことをお詫言いたします。

これから社会人として、まず自らの力で健康に生きてほしいと願います。そして、職場では先輩や仲間との素晴らしい出会いを大切にしてください。仕事の厳しさや喜びを教えてください。「師」を見つけ、その出会いを通して人間としての幅を広げてほしいのです。

それぞれが社会を支える存在となり、豊かな心で新しい価値観を創造し、平和な世の中を君たちの手で作ってくれることを期待しています。



副担任 小松 傑

卒業おめでとうございます。この日を迎え、高校3年間の学びに1つ区切りがつかしましたね。ひと区切りついたところではありますが、この節目に、「学ぶ」ということの意味について、少しだけ考えてみてほしいと思います。学ぶ理由は人それぞれですが、私は「学び」とは「優しさを身につけること」だと信じています。無知のままでは、人は気づかぬうちに誰かを傷つけてしまうことがあります。しかし、学ぶことで他者の痛みや喜びに気づき、寄り添う力が育まれます。

これからの人生には、迷いや不安もあるでしょう。それでも、学び続ける姿勢を忘れなければ、人にも自分にも優しくいられます。皆さんの未来が温かく、幸せに満ちていくことを、心から願っています。

中岡 煌太郎

私の機械科での3年間は、実習や課題研究を通して仲間と協力する大切さを学んだ時間でした。失敗も成功も今となっては良い思い出になっています。卒業後は部活動や資格試験で得た忍耐力を生かし、責任ある行動で心がけるようにして社会に貢献できる技術者を目指して頑張ります!!

柏木 真聖

高校生活で最も印象に残っている思い出は体育大会です。私は青団の団長として、約200人の団員を応援団の仲間と協力しながらまとめ上げ、演舞の部と総合の部の両方で優勝することができました。この経験を通して、新社会人になっても周囲と協力し合い、何事にも挑戦し続けていきたいと考えています。

中村 柊翔

高校生活での3年間の思い出は、実習です。私は、実習を通して自分の得意な事、苦手な事がわかった事で就職先を決めるヒントを得ることができました。卒業後は、九州電力株式会社で立派な技術員になれるように頑張りたいです。

3年6組 担任 松尾 昌治

朝のSHRでは「今日も頑張ろう」と毎日伝えてきました。皆さんは今日まで本当に走り抜いてくれました。これから先、壁にぶつかり転ぶこともあるでしょう。その時は冷静になり、「つまずいたら、まずは自分を疑え」という言葉を思い出してください。必死に頑張らなければ、つまずくことすらありません。つまずいたのは、皆さんが挑戦した証です。だからこそ原因を周囲のせいにならず、自分の準備や姿勢を問い直してほしいと思います。自分に目を向ける勇気こそが、失敗を「成長」へと変えてくれます。つまずくたびに自分を磨き、また新しい朝に「今日も頑張ろう」と踏み出す。そんな強さを持った皆さんの未来を、心から信じています。卒業おめでとう。

副担任 豊田 悠月

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日という日は、皆さんがそれぞれの「正解」を探していく旅の始まりです。大学で学問を深める人、専門学校で技術を磨く人、そして社会という大きな荒波へ一足先に飛び出す人。進む道は違えど、この学び舎で共に過ごし、切磋琢磨した時間は皆さんの確かな糧となっています。新しい環境では、思うようにいかず立ち止まることもあるでしょう。しかし、そんな時こそ思い出してください。皆さんは、この三年間でいくつもの壁を乗り越えてきました。自分の選んだ道を、自分なりの歩幅で、一歩ずつ進んでいってください。皆さんの未来が、希望と彩りに満ちたものであることを心から願っています。

宮本 翔向

3年間の思い出は沢山ありますが特に修学旅行と体育祭です。修学旅行はアイスニースではしゃいだりホテルでの何気ない話だったりみんなでワイワイしながら食事をしたことを今でも鮮明に覚えています。体育大会では3年生で応援団になり一致団結で真剣な声援をあげてきました。6組は個性強い人ばかりですが全員向いて良い人ばかりです。本当に6組で良かったと思っています。卒業後頑張りたいことは最初はわかりませんが早く技術を身につけて頑張ろうと思います。

滝下 颯大

学校生活では、楽しいことも大変なこともたくさん経験しました。行事や友だちとの何気ない時間は、今ではかけがえのない思い出です。部活動などの顧問の先生からのご指導も自分のために言ってくれていることを理解して部活動に励みました。これからこの経験を力に、前向きに頑張っていきたいです。

福嶋 優俐

僕の3年間の思い出は皆と一緒に授業や行事を楽しめた事です。他にも色々思い出は沢山ありますがやはりクラスのみんなと楽しめたことが一番の思い出だと思います！卒業後は就職した場所での新しい環境になりますが、まずその職場になれることから頑張っていこうと思えました！卒業してもこの3年間の思い出を忘れず仕事を頑張ります。



学年主任 中松 大寿

卒業おめでとうございます。皆さんが進む道はそれぞれ違いますが、目指す先は皆同じ「幸せになる」という事だと思っています。「幸せ」は自分ひとりよりも、多くの人との繋がりの中で強く感じられるものだと思っています。これからはより一層、人との繋がりを大切にしてください。困難に直面したときは、手を差し伸べてくれる仲間が必要です。また、あなた自身も誰かにとってそんな存在になる力を持っています。周りの人を大切に、支え合いながら豊かな人間関係を築いていってください。いつまでもあなたの幸せを願っています。保護者の皆様、お子様を一番近くで支えてくれたこと、本当にありがとうございました。今日という日が、ご家族にとって素晴らしい門出となりますようお祈り申し上げます。



祝 卒業記念特集 ~はばたけ~

もえぎ

第39号 令和8年3月1日 発行

水俣高校PTA新聞



「はじまりのとき」 卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。これまでの水俣高校での生活を思い返すと、いろいろなことが思い返されることでしょう。体育大会や文化祭、長距離走大会やクラスマッチ、販売実習や修学旅行、研修旅行、それぞれが活躍の場をくれた日々々々。しかし、入学の頃は、まだまだ感染症対策を万全に行わなければならず、試行錯誤の連続で立向かっていた日々々々もあつたこととなり、感慨深いものがあると思います。この一年、皆さんに話をしてきたこと、それは自ら「動き」、人生を「探り」、何事も「究め」、自分を「信じ」、「先見の明」を持って行動してほしいということでした。これからの社会は、「激しい変化が止まることのない社会」とまで言われています。立ち止まるわけにはいきません。一歩一歩確実にそしてスピーディーに前進していかなければなりません。不安と期待が交錯しているかもしれないですが、水俣高校で頑張った皆さんなら、絶対に「大丈夫」です。水俣高校での生活で「探究する力」を育み、「主体的な学び」にも取り組まれました。あとは、自分自身の「夢・願い」を自分で実現するのみです。

いよいよ新たな人生が始まります。自信と希望を持ち、多くのハードルを勇気を持って乗り越え、立ち止まることなく、水俣生として胸を張って、輝ける未来に向かって前進し、今まで以上に輝き続けてください。

希望と夢を持ち続けた、水俣高校第12回卒業生に、心よりエールを送ります。卒業生の保護者の皆様、お子様の御卒業、誠にありがとうございました。本校教育の推進に温かい御理解と多大なる御支援、御協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。今後とも本校の教育に変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしくお祈りいたします。



「新しい挑戦のはじまり」 卒業おめでとうございます。PTAを代表して、皆さんの門出を心よりお祝い申し上げます。これから長い人生、迷うこともあるでしょう。しかし、失敗をおそれず自ら可能性を信じ、「できるか、できないか」ではなく、「まずはやってみよう」という姿勢で新しい世界へ挑戦し続けてください。また、今日まで皆さんを支えてくれた家族や友人、先生方への感謝の気持ちを忘れずにください。その思いが、困難な時の支えとなります。皆さんの未来が輝かしいものであるよう、心から応援しています。



「希望に満ちた未来へ」 卒業おめでとうございます。定時制PTA会長 市来 正美 学業と行事との両立の日々の中で、楽しい事はばかりでは無く、辛い困難や苦労もたくさんあった事でしょう。何よりも自分を信じて努力を重ねて来られました。また、ご家族、友人、先生方やたくさんの方々に支えられ今日を迎えられた事、様々な経験や思い出は、これから先にある未来への大きな糧になることと思います。自分を大切に、周りへの感謝を忘れず、輝く未来への一歩を踏み出した皆さんの夢が一つでも多く叶う事を心から応援しています。

卒業生への応援メッセージ

3年1組 担任 久保田 寿子

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまでお子様を温かく見守り、支えてこられた日々心より敬意を表します。そして、この佳き日を共に迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん、三年間という時間は、振り返れば本当にあつたという間だったことでしょうか。嬉しかったこと、悔しかったこと、何気ない日常の一つ一つが、皆さんを大きく成長させてくれました。当たり前のように感じていた毎日、実はたくさんの方の支えがあってできたかけがえのない時間でした。これからの日々もおそらくそうだと思います。自分を支えてくれる人を大切にする人になってください。新しい世界へ踏み出す皆さんを、心から応援しています。

副担任 木下 浩樹

卒業おめでとうございます。明るく行事を全力で楽しむ1組のおかげで笑顔の絶えない2年間でした。この1年はそれぞれの進路に向かって努力した日々だったと思います。自分のやりたいことをするために、やりたいことをしなければなりません。これは卒業しても変わりませんし、次は自分のやりたいことを考えなければなりません。じゃあ自分のやりたいことって何だろう?と考えるでしょうが、この問いには正解がありません。だからこそ、その問いに真剣に向き合わねばなりません。自分なりの正解が見つかり実現に向けて行動を起こすときに水俣高校での努力や経験、そして思い出が後押ししてくれると思います。ですから自信をもってやりたいことを探してください。皆さんの健康と活躍を心より願っています。

稲葉 友彩

友人のおかげで、毎日楽しく過ごせた3年間でした。休日はスポーツをして仲を深め、部活動や学校行事にはみんなと全力投球で取り組みました。時には、はしゃぎすぎて怒られることもありましたが、それも含めて良い思い出です。友人と離れるのは寂しいですが、卒業後も自分らしく、元気に楽しく過ごしていきます!

武内 真衣

笑顔と元気をくれる愉快な仲間達と先生方に恵まれ、毎日楽しく輝かしい高校生活を送ることができました。この3年間の全ての時間が私にとって一生の宝物です。今後は大学へ進学し、そこでは夢の実現に向けて、新たな仲間達と一緒に価値のある4年間を過ごしていきたいです。皆と出会えて本当に良かったです!これからもよろしく!!

中村 璃音

私の思い出は部活動、クラスでの日常生活です。部活動ではチームや自分と向き合う事で人としても成長することができ、勝った時の喜びはどんな出来事よりも大きいものでした。1組は笑い絶えずとても仲が良く、みんなと過ごした毎日は宝物です。卒業後も目の前のことに集中し立派な理学療法士になります。



定時制



3年担任 古垣 啓治

定時制3・4年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんは学校行事や学習、販売実習、定通総体など、多くのことにチャレンジし、学びました。働きながら学習や資格取得にも励みました。本当にありがとう。これから社会へ巣立ちますが、楽しいことばかりではなく、辛い時もあるでしょう。そんな時は相談してください。定時制での3・4年間を思い出せば、きっと乗り越えられるはず。持ち前の明るさと決断力で、明るい将来を築いてください。私からは「正解を探すのではなく、自分が選んだ道が正解だと思えるように積み重ねていく」という言葉を送ります。RADWIMPSの曲「正解」でも語られるように、答えを決めるのは皆さん自身です。卒業おめでとう！

4年担任 北島 武典

卒業おめでとう。予測困難な今の時代を生き抜いていく皆さんにとって、本校の探究的な学びを通して育んできた力は、人生の岐路に立った時、きっと皆さんの決断の助けをしてくれることなのでしょう。主体性を持って、何事にも臆ることなく果敢にチャレンジしてほしいと思います。そして、人生の大海原を航海していく皆さんにとって、いずれの地に赴いても、この故郷で育った思い出は永遠に残り続けることと思います。長い人生、辛い事も多々あるでしょう。そんな時は、この美しい故郷での日々を思い出し、夢を志したあの日を振り返り、自分の感性を信じて真っ直ぐ誠実に生きていってください。皆さんの前途に幸多からんことを願います。

森下 敦

4年間を振り返ってみますと、あっという間に過ぎ去りました。まるで浦島太郎のように楽しい時間は早く過ぎてしまうのです。生活体験作文で全国大会に出場し、文部科学大臣賞を頂いた事は、高校生活の、否、人生最大の思い出となりました。記憶にも記録にも残せたからです。定時制の仲間へ感謝です。みんな、ありがとう。

この4年間で色々あったけど、良い先生と生徒、同級生に恵まれ、楽しく過ごすことができた。そして入学してからの時間は長いようで短く、時間は有限であると改めて考えさせられた。これから今までどおり、限られた時間の中で一生懸命に何かに没頭し、頑張っていこうと思う。

水俣高校定時制で過ごした3年間は色々な事があり、学校が嫌になる時もありましたが、多くの学びや思い出ができました。責任感、達成感などを感じ、自分の人間性を成長させる為の大事な期間でした。自分の気持ちに嘘をつかず意思決定が出来るようになったことは、水俣高校での生活があったからだと思いました。3年間ありがとうございました。

入学してから卒業までの3年間で、様々なことを学びました。商業に関する知識や販売実習など、実践を交えて学ぶ事ができました。卒業後は、この3年間で培った知識や技能を生かしながら進学先で頑張ると共に、将来を見据えながら努力を続けていきたいと思っています。



水俣高校文化祭



3年2組

担任 児玉 賢史

卒業おめでとうございます。水俣高校での生活は楽しかったですか？私はみんなと2年間、同じ時間を過ごすことができ楽しかったです。みんなはこれから先、これまで経験したことがないような高い壁に直面することもあるでしょう。そんなとき、「自分には無理だ」とすぐに諦めないで、失敗を恐れずに挑戦すること。その勇気がこそ、みんなを成長させてくれます。若いうちの失敗は、すべてが良い経験であり、未来への糧になります。みんなが自分を信じ、力強く一歩を踏み出すことを応援しています。今後、時間ができたときには水俣高校に遊びに来て、元気に頑張っている姿を見せてください。みんなのこれからの活躍を応援しています。

副担任 迫 雄二

私の趣味は旅をすることです。非日常の時間を過ごしたり、デジタルでは代替不可能な素晴らしい景色に出会えたりします。そして何より心躍るのは、自分が「知らないこと」に出会う瞬間です。人生はしばしば旅に見立てられますが、私も心底からそう思います。まだ見ぬ場所を求めて、一歩ずつ前へ進んでいく。

人は、自分が習得した言葉や知識を用いて思考し、それまでに見聞きした情報や経験のみで、自分の価値観を創っていきます。すなわち、既得した知の内のみに、自分の全世界が創られます。これから新生活に歩み出すみなさん、「知らないこと」を恐れず、求め続けてください。自分の世界を大きく開く「まだここにはない出会い」が待っていると思います。

3年3組

担任 組島 枝莉

ある時、お釈迦さまが弟子に問いました。「広い海の底に、百年にたった一度だけ海面に顔を出す、眼の見えない一匹の亀がいます。その眼の見えない亀が、百年に一度海面に浮かび上がったちょうどその時に、海に漂う木切れの小さな穴に、頭をひよいと突っ込むことがあるだろうか？」と。可能性を否定する弟子に、お釈迦さまが言われます。「実は、私たちが「人として生まれる」ということは、その亀が木切れの穴に首を入れることより難しいことなんですよ」と。これは「盲亀浮木」というお話です。人として生まれること自体、めったにないことなのに、私たちがお互いに出会うその意味を考えさせられます。水俣高校で皆さんと出会い、その優しさに触れ、もらったたくさんの幸せな時間は、奇跡のようなものだったと感じています。心からありがとう。そして、卒業おめでとう。

副担任 緒方 悠吾

ご卒業おめでとうございます。ヘミングウェイは「この世は素晴らしい、戦う価値がある」と言いました。「君の青春は輝いているか。ほんとうの自分を隠してはいないか。君の人生は満たされているか。ちっぽけな幸せに妥協していないか。」「愛が欲しければ誤解を恐れずにありのままの自分を太陽にさらすのだ。」これらは私の好きな特撮テレビドラマ「超人機メタルダー」のオープニングテーマの一部です。人生の一日一日は自分と世界の戦いそのものであり、「一日は小さな一生」です。そして、一日一日の主人公はキミたち自身です。「生きて、生きて、生きて」になってください。これからのキミたちの旅路に幸多からんことを！

3年4組

担任 後藤 祥幸

2026年3月1日に手にする卒業証書の手をしっかりと感じてください。水俣高校で過ごした3年間であなたたちは確かに成長しました。自分自身の頑張りはもちろん、多くの人の支えもありました。すべての人に感謝の言葉を伝えることは出来ないかもしれませんが、気持ちは忘れずにいましょう。卒業証書は1枚の紙です。それは、これから始まる新しい生活への切符です。良いことばかりじゃないかもしれませんが、でも良いことが必ず待っています。多くの人と出会って、刺激を受けて、ぜひ「懐かしい人」になってください。卒業おめでとう。私もたくさん成長させてもらいました。ありがとう。あなたたちの未来がキラキラ輝くことを祈っています。

副担任 松本 理恵

「やれば伸びる」私の好きな言葉です。これまで努力しても思うような結果が出なかった経験や、途中であきらめてしまった出来事さえ、決して無駄ではなかったと思えるはず。失敗や運回りの中で感じた悔しさや迷いは、次に進むための大切な糧になります。ただし、この言葉は待っているだけでは意味を持ちません。自ら考え、選び、行動することではじめて力になります。自分で踏み出した一歩一歩が、これからの人生を支える確かな財産となるのです。新しい生活が始まります。不安もあるでしょう。しかし、勇気を出して前へ進んでください。「やれば伸びる」。その言葉を信じ、自分自身の可能性を信じて、最初の一歩を踏み出してください。



緒方 陽紀

三年間を通して体育大会や修学旅行などの行事も楽しかったですが、一番は友達と何気ない会話で盛り上がりたり、ふざけ合ったりしたこと。趣味が合う友達や話題の合う友達と楽しく話したりしたときが思い出に残っています。卒業後は進学先で将来に向けて勉強や実習などに熱心に取り組みたいです。

松村 陸

高校三年間では、部活動や学校行事などを通して、クラスメイトの大切さや努力する大切さを学びました。部活動などでもうまくいかず悩んだことをありましたが、その経験が自分を成長させてくれました。卒業後は、大学で金融に関する専門知識を学んだり、資格取得に向けた勉強したりして、自分の夢に向かって挑戦していきたいです。

福田 小桜

剣道部での活動が思い出です。部員は少なかったですが、安方先生の一人一人にあったご指導のおかげで少しずつ結果が出て、昇段することができました。卒業後は海上保安学校で勉強や訓練を頑張ります。そして、日本の海を守ることができる立派な海上保安官になりたいです。



徳富 剛樹

高校3年間の思い出は友達が出来たことと修学旅行です。自分は初対面の人と馴染むことが苦手だったので、高校生活がうまくいかなくて、色んな人が話しかけてくれて、たくさんの人と仲良くなることで、友達も増えました。また、修学旅行で友達みんなで東京の観光名所を巡りました。友達みんなの仲も深まり、とてもいい経験になりました。卒業したら郵便局に勤めます。配達員として地域住民の役に立てよう働いていきたいです。

橋 稜葵

3年間の思い出で一番印象深いのは修学旅行です。友達と土地勘のない東京をまわり、協調性や時間を守る大切さを学ぶことができました。また、受験勉強ではたくさん勉強し、知識を学ぶことの楽しさを知り、内面的にも成長している事を感じました。卒業後は、水俣高校で培った学びを生かし、気を緩めずに勉学に勤んでいこうと思います。

吉海 碧華

私の3年間の思い出は、特別な出来事よりも毎日の何気ない日常です。朝、学校にきて友だちと話し、放課後は部活動に行く。何も思わず過ごしていた日々ですが、今振り返ると大切な思い出です。私と関わってくれた全ての人に感謝し、卒業後も夢に向かって頑張ります。



木野 苺香

高校3年間で、商品開発や地域の方と協力する活動を頑張ってきました。うまくいかないことも多かったですが、話し合いながら進めた経験は大きな思い出です。この経験をこれからの進路や生活に生かし、周りに関わりながら挑戦を続けていきたいです。

田中 歩杏

高校3年間の思い出は、3年生の体育祭で団の副団長を務めたこと、生徒研研に参加するなど、新しいことに挑戦をした事です。人前で動く経験を通して自信ができました。この経験で得た行動力と挑戦する気持ちを、将来にも生かし、周りから信頼される社会人になれるよう努力していきたいです。

柿本 莉杏

友人と過ごした毎日々、目標に向かって頑張った時間は、私にとってかけがえのない宝物になりました。みんなと過ごした時間のひとつひとつが、私にとって大切な思い出です。これからはその思い出を励みに、新しい環境でも笑顔忘れず、いろいろなことに挑戦し続けていきたいです。

